

ソーシャルワーク論Ⅳ

担当教員 柿本 誠

配当年次 2年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 相談援助における人と環境との相互作用に関する理論について理解できる。
2. 相談援助の対象と様々な実践モデルについてそのスキルが実践できる。
3. 相談援助の過程、知識や技術について理解でき、プランニングができる。
4. 相談援助における事例分析の意義や方法について理解し、実践できる。
5. 相談援助の実際（権利擁護活動を含む）について理解し、実践できる。

【授業の展開計画】

1. オリエンテーション SWⅢの振り返り 相談援助のプロセス：岡さんの事例を中心に
2. 相談援助の展開過程Ⅱ 個別支援から地域支援
3. 相談援助のためのアウトリーチ
4. 相談援助のための契約の技術
5. 相談援助のためのアセスメントの技術
6. 相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントと面談
7. 相談援助の介入技術
8. 相談援助のための面接の技術
9. 相談援助のための記録 意義と目的 記録の種類と活用
10. 相談援助のための記録 記録の方法とIT化 記録と倫理
11. 相談援助のための交渉と技術
12. スーパービジョンの技術 バイザーとバイジーの関係
13. 事例研究・事例分析① 児童虐待が疑われた事例 ホームレスへの相談援助事例
14. 事例研究・事例分析② ドメスティック・バイオレンス（DV）の事例 認知症夫婦の事例
15. 事例研究・事例分析③ 社会的排除に対する事例

【履修上の注意事項】

1. 社会福祉士国家試験受験希望者は、必ず履修する。
2. 予習は、授業のテーマについて、テキストや事例集で事前に学習しておくこと。
3. 復習は、授業の「振り返り表」で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等で再確認すること。
4. 授業で取り上げられた、国家試験問題（過去問）は確実に理解すること。

【評価方法】

定期筆記試験(100%) 授業の3分の2以上の学生のみ単位認定する。筆記試験内容・評価基準は国家試験の出題や評点基準に準拠する。

【テキスト】

社会福祉士養成講座編集委員会『相談援助の理論と方法Ⅰ』新・社会福祉士養成講座⑦、中央法規出版。

【参考文献】

社会福祉士養成講座編集委員会『相談援助の理論と方法Ⅱ』⑧中央法規出版。